

2024年3月1日

報道各位

ニューホライズンキャピタル株式会社

株式会社ウィルミナの株式譲渡

ニューホライズンキャピタル株式会社（本社 東京都港区、代表取締役 安東 泰志）が運営するニューホライズン3号投資事業有限責任組合（以下総称して「弊社」）は、株式会社ウィルミナ（本社：東京都新宿区、代表取締役 幸村潮菜、以下「ウィルミナ」）の株式を株式会社カワタキコーポレーション（本社：京都市南区、代表取締役 川端健嗣、以下「カワタキコーポレーション」）に譲渡することを決定いたしました。

ウィルミナは、約40年にわたり、生活協同組合の組合員様へ化粧品など「安全・安心」な商品の提供にはじまり、現在は「女性が自分らしく、晴れやかに生きる社会をつくる」をVisionに掲げ、女性の美容や健康の悩みに寄り添う商品を取り扱うEC通販事業や、オンライン診療・処方プラットフォームサービスを手掛けています。

カワタキコーポレーションは、「創る、届ける、より良い暮らし」をスローガンに、皆様のより良い暮らしの実現を目指し、全国の生活協同組合の組合員様へ生活日用品雑貨を中心とした商品の卸売りに加え、カタログ通販会社やECプラットフォームを通じた商品の販売を手掛けています。さらに、約100年にわたる卸売事業の実績をもとにした物流事業では、最新鋭の環境を整備し、EC通販を含めた物流受託業を展開しております。

本取引により、両社が同一資本グループとなり、これまで培ってきたサービスやノウハウを融合することで、お客様や社会に対し、より多くの付加価値の提供が可能になるものと考えております。

ウィルミナが今後更なる成長を実現することを祈念いたします。

以上

ニューホライズンキャピタル株式会社について

2002年2月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から、2006年10月の会社分割を経て、通算20年超の実績（独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額2,700億円超）を誇る。現在は、NHCとして6本目、創業から10本目のファンドを運営中。2002年以来、すべてのファンドの創設時にキーマン（主運用責任者）をつとめてきた安東泰志をはじめとするNHCのチームメンバーは、フェニックス・キャピタルにおいて、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ等、また、ニューホライズン1号から4号ファンドにおいても多数の投資を実行し、ハウステック、シバウラ防災製作所、昭和コーポレーション、NITTO/平世美装等、開示可能なエクイティー投資先だけで約50社、全体では100社超の日本随一の投資実績を有する。

この件に関する問い合わせ先（弊社広報担当）：

インターナショナル・ファイナンシャル・コンサルティング株式会社

竹江、高杉 連絡先：03-5532-8921